

# 地震に備え 家具の転倒防止対策 をしましょう!



近年の大きな被害をもたらした地震による死者や負傷者の原因を見ると、その多くは、家屋の倒壊や家具の転倒によるものです。

家具の転倒や収納物の散乱、ガラス飛散などは、負傷の原因になるだけでなく避難や救助の妨げにもなります。

阪神淡路大震災では、食器棚などが扉が開いて中の食器類が散乱し、また、テレビや電子レンジが飛んだり、冷蔵庫やピアノなどの大型家具が移動するなどの現象も確認されています。

転倒防止器具を取り付けたり、ガラス飛散防止フィルムを貼ったりするとともに、家具の配置を見直して、地震に備えた安全安心な家が目指しましょう。

国土総合防災局 ☎(25) 81333

チェックポイント	
<input type="checkbox"/>	2階にピアノや重いものが入った家具などを置いていない
<input type="checkbox"/>	家具などを家屋の片側に集中して置いていない
<input type="checkbox"/>	背の高い家具は固定して転倒防止をしている
<input type="checkbox"/>	エアコン、額縁などの落下防止をしている
<input type="checkbox"/>	家具の上に重いものを置いていない
<input type="checkbox"/>	本棚などの収納物は、重いものを下にしている
<input type="checkbox"/>	扉や引き出しの開放防止策をとっている
<input type="checkbox"/>	ガラス飛散防止フィルムをはっている
<input type="checkbox"/>	食器棚などの収納物の落下防止をしている
<input type="checkbox"/>	照明器具の落下防止をしている



## 交通事故 発生状況

高島警察署 ☎(22) 0110

内容	件数	前年比
人身事故		
発生件数	166件	-43件
死者数	11人	+5人
傷者数	232人	-44人

## 発生場所 件数

マキノ	19件
今津	42件
朽木	10件
安曇川	43件
高島	22件
新旭	30件

(平成24年11月末現在)



## 火災・救急・救助 件数

消防総務課 ☎(22) 5401

火災	件数	1月からの累計
建物火災	0件	8件
車両火災	0件	3件
林野火災	0件	1件
その他火災	0件	19件

救急	件数	1月からの累計
交通事故	22件	179件
一般負傷	29件	351件
急病	137件	1394件
その他	26件	275件

救助	件数	1月からの累計
火災	0件	8件
交通事故	5件	28件
水難事故	0件	4件
その他	1件	11件

(平成24年11月末現在)

(注)【救急】その他  
=火災+労働災害+運動競技+加害+自損事故+転院搬送等  
【救助】その他  
=自然災害+機械事故+建物事故+ガス事故+爆発等

## 環境放射線 測定結果

原子力防災対策室 ☎(25) 8133

### 11月平均値 (平日測定)

マキノ (マキノ支所前駐車場)	0.067 $\mu$ Sv/h
今津 (今津支所玄関北側)	0.062 $\mu$ Sv/h
朽木 (朽木支所前駐車場)	0.074 $\mu$ Sv/h
安曇川 (安曇川支所裏駐車場)	0.051 $\mu$ Sv/h
高島 (高島支所東駐車場)	0.057 $\mu$ Sv/h
新旭 (市役所北側玄関前)	0.063 $\mu$ Sv/h

10月から測定回数が変わりました。市役所と各支所の前は、毎週火曜日と金曜日に測定しています。測定地点は、他に24か所あり、毎月第2水曜日の1回測定しています。その他の測定地点の測定結果は、ホームページをご覧ください。

### 【日常生活と放射線】

●一人あたりの自然放射線量(日本)  
0.171  $\mu$ Sv/h ※世界平均0.27  $\mu$ Sv/h  
年間平均値から8,760(24時間×365日)で割り戻した値です。

# 紙ごみ減量チャレンジ 最優秀団体の取組紹介!!

## 回収作業を高齢者見守り活動に

(上古賀区)

上古賀区は、区役員と子供会の協働事業として、大人だけでなく子どもたちも一緒になって、資源ごみ回収に取り組みました。活動を通して、以前より紙ごみの回収量が増えただけでなく、区民間のコミュニケーションも増え、子どもたちが地域で活動する事についての理解も得られました。紙ごみを回収するだけでなく、回収時に一戸一戸声かけを行うことで、高齢者見守り活動につながっており、高齢化の進む地区にとって、防災や福祉の面からも、非常に有益な取り組みです。



## アイデアチラシで分別啓発

(川原市区)

川原市区は、古紙回収業者と紙を含む資源ごみ回収について契約を交わし、毎月一回資源ごみ回収活動に取り組みました。また、資源ごみの分け方や出し方についてアイデアをこらしたチラシの作成や、川原市区広報誌に資源ごみ回収日時の案内等を掲載するなど、ごみ減量について区民の皆さんに広く啓発をされ、区全体が協力して資源ごみ回収に取り組める環境づくりに努められました。



## 家庭や地域も巻き込んだ活動を展開

(朽木東小学校)

朽木東小学校は、全校児童集会で紙ごみ減量についての発表、各教室に紙を入れる「リサイクルボックス」の設置、また、学校新聞や学級だよりで各家庭や来校者に活動内容を周知するなど、積極的に取り組みました。また、校内(先生と生徒)だけにとどまらず、保護者や地域を取り込んだ、紙ごみ減量活動を実施されました。



この事業は全国モーターボート競走施行者協議会からの拠出金を受けて実施するものです。



ごみ減量推進室 ☎(25) 8123